

カレード通信 Vol.88

2025年
2月号

February

日	月	火	水	木	金	土
						1 子 <small>陶芸</small>
2	3	4 赤 <small>陶芸</small>	5	6	7	8 子 <small>陶芸</small>
9 英 料理教室	10	11 陶芸	12	13	14	15 子 <small>陶芸</small>
16 子	17	18 赤 <small>陶芸</small>	19	20	21	22 子 <small>陶芸</small> カレードステージ
23 かがく実験教室	24	25 陶芸	26	27	28	

＊おはなし会情報＊

会場：おはなし会コーナー(パオ)
時間：10:30～11:00
参加無料・申込不要

赤 あかちゃんおはなし会

- ＊第1火曜日
- ＊第2火曜日(隔月開催)
- ＊第3火曜日

子 こどもおはなし会

- ＊毎週土曜日
- ＊第3日曜日
- ＊第4日曜日(隔月開催)

英 えいごのおはなし会

- ＊第2日曜日

図書館展示情報

一般展示 天使のささやき・悪魔のささやき

2月17日は「天使のささやきの日」です。1978年のこの日、北海道で-41.2℃の最低気温を記録し、そんな極寒の地のイメージをプラスに転じようと、地元の人々によって制定されました。みなさんの心のなかにも、プラスに変えたい！イメージチェンジしたい！狙うは一発逆転！という気持ちをお持ちの方もいらっしゃるのではないでしょうか。この展示ではそんな本を集めました。が、今回はそんな本ばかりではありません。つつい食べちゃう深夜のラーメン、ここまで止めようと思っても止まらないおやつ。あの人はいつも素敵なのに自分は、、、など、日々葛藤を抱えている方もいらっしゃるかもしれません。いいんです。今回はそんな背徳感、罪悪感にまみれた本も集めました。ぜひみなさまの中の天使のささやき、悪魔のささやきに耳を傾けて、その時に合った本をお手に取ってみてください。

このほか館内の様々な場所でも展示をしています。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色んな本と出会ってください♪



児童展示 いろいろおかし

チョコレートばかりに目がっちゃうけど、ほかのおかしもおいしいものがいっぱい。カレードではいろいろなおかしの本をならべたよ！好きなおかしあるかな！？

YA展示 「妖しくも美しき世界」への招待

夢が現実か、空想的で不可思議な出来事。
この世のものではない、異類異形のものたち。
美しい言葉で綴られた艶麗耽美な作品を蒐集してみました。
儚く秘密であふれた幻想世界をどうぞ堪能ください。



1X(旧Twitter)

最新情報は
コチラから！



1Facebook

野々市市立図書館 野々市市民学習センター
学びの杜のいちカレード

【開館時間】 9:00～22:00
【休館日】 毎週水曜日
年末年始(12/29～1/3)
特別整理期間

〒921-8845
石川県野々市市太平寺4丁目156番地
TEL: 076-248-8099
FAX: 076-248-8175
HP | <https://www.kaleido-nono1.jp>

HPのQRコードは
こちら！

2月 カレードイベント情報！

カレードステージ VOL.2

「人生最期に最高の一冊を」

日時／2月22日(土)

①13:00～13:45 ②16:00～16:45

出演／劇団羅針盤

会場／研修室・会議室

定員／各回50名

対象／小学3年生以上

参加費／無料

申し込み／カレードに来館、もしくはお電話にてお申込みください。(先着順)



もしもあなたが旅立つとしたら。誰に、そして何の本を残しますか。このお芝居を観ると、10冊のオススメ本に出会えます。さあ、人生の1冊を選びましょう。

1月 イベント報告

カレードステージ VOL.1 「さんびきのこぶたと」を公演しました。

1/25(土)にカレードステージVOL.1「さんびきのこぶたと」を公演しました。劇団羅針盤さん出演による、パペットを使った劇でした。皆さんの知っている「3匹のこぶた」とは少し違った展開に、みなさん楽しんでおられました。大好評に終わったこちらの公演、ぜひ次回もお楽しみに！



カレードシネマ 「種まく旅人～華蓮のかがやき～」上映しました。

1/12(日)、カレードシネマで『種まく旅人～華蓮のかがやき～』を上映。体力と覚悟が必要なれんこん農家。いつも行く金沢のあんな場所こんな場所でストーリーが展開されていくので、きっと身近に感じられたのではないのでしょうか。

次回の上映会は3/9(日) 13:30～を予定しております。ぜひまたお越しください♪



今月のおすすめ本

『図説 モネ「睡蓮」の世界』

著者：安井 裕雄 出版者：創元社 分類ラベル：723.3/1/

国立西洋美術館で開催中の「モネ 睡蓮のとき」。フランスの画家クロード・モネは、印象派を代表する画家の一人で、「光の画家」とも呼ばれています。モネの代表作「睡蓮」は、どこかで目にしたことのある方も多いでしょう。

本書は、モネの生涯と画業に触れながらも、モネが作った「水の庭」で見出された自然の作品群である「睡蓮」を中心に解説されています。代表作「睡蓮」の歩み、制作の背景、作品の見どころなど、全308作品の総目録を収録しています。同じような構図の多い「睡蓮」ですが、この本では見比べ、その違いを知ることができます。著者は、フランス近代美術を専門とする、三菱一号館美術館上席学芸員の安井裕雄氏。モネが「睡蓮」に後半生を捧げた理由や、白内障を患ったモネが、創作意欲を蘇らせたきっかけなどを解き明かします。

画集だけじゃ物足りない。解説だけじゃ物足りない。そんな方にぜひ読んでいただきたい本です。モネが描いたたくさんの「睡蓮」を、ぜひお楽しみください。(スタッフK)